



学校だより

夢中がいっぱい左近山の子

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来(公/開)～

令和5年1月10日

Sakonjama 横浜市立左近山小学校

1月号

「今年のご目標は何？」

校長 徳留 勇

謹んで新年のお喜びを申し上げます。本年も、安心、安全で笑顔あふれる学校づくりを目指し、全力で励んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

「今年のご目標は何？」 多くのご家庭で子どもたちと交わした話題の一つだと思えます。「一年の計は元旦にあり」と言われますが、お正月という節目に、夢ややりたい自分について改めて考えるのは大切なことです。

一方で、「昨年のお正月に考えた目標は何だった？」と問われると、ほとんどの人は答えられないのではないのでしょうか。日々の生活や忙しさに追われ、新鮮な気持ちはやがて薄れていきます。よほど強い意志をもっていない限り、その時の思いは忘れてしまうものです。

では、夢や目標を立てるのは無意味なのではないのでしょうか。そんなことはありません。忘れてしまうからこそ、節目ごとに自分を見つめなおし、夢や目標を改めて意識し、自分の生き方を軌道修正していくことに大きな意義があると思えます。

流通評論家の吉田貞雄氏の言葉に「夢八訓」というものがあります。

もちろん夢や目標があるからといって、必ずしも成功するわけではありません。でも、「成功する人には夢や目標がある。」という事は確かなことです。同じようなことを吉田松陰や渋沢栄一も言っていますが、まずは、「夢をもつこと。」その上で「実現可能な目標に向かって、計画的に行動すること。」そして、「振り返り、反省し、進化し続けること。」いわゆるPDCAサイクルが大切であると解釈しています。

「夢八訓」

- ① 夢ある者には希望あり
- ② 希望ある者には目標あり
- ③ 目標ある者には計画あり
- ④ 計画ある者には行動あり
- ⑤ 行動ある者には実績あり
- ⑥ 実績ある者には反省あり
- ⑦ 反省ある者には進歩あり
- ⑧ 進歩ある者には夢がある

令和5年がスタートしました。学校では、来るべき次年度に備えて一年のまとめをする時期です。夢や目標を再確認し、残りわずかとなった今年度の一日一日を価値あるものにしてほしいと願っています。

今年も教職員一同、力を合わせ、子どもたちを励まし、指導にあたっていきます。学校と家庭、地域が共に手を携え、子どもたちのよりよい成長を目指していけますようご理解とご協力をお願いいたします。